

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社笑庵

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・各店舗で責任者を選定し廃棄物の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガスなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・店舗や事務所にLED照明設置を行っている。 ・【予定】令和5年5月までに、簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握する。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電車やバスなどの公共交通機関での出勤を推奨し、温暖化対策に貢献している。 ・【予定】令和5年5月までに、簡易計算シートを用いて、CO ₂ 排出量を把握する。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・店頭での割り箸の使用を廃止し、事業活動が環境に悪影響を及ぼさないように配慮している。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・商品の発送時、過度な包装を避けることでリデュースに取り組む他、極力ロスが発生しない商品開発を行っている。 ・【予定】令和5年5月までに規格外商品の開発を行いリサイクルに取り組む。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・油脂や残飯、野菜くず等直接下水等へ流出することを防ぐ為グリストラップを設置する他、節水機能対応の製氷機や食洗機を導入し、水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・オンラインショップでの冷凍ラーメンに同封する商品説明書は、再生紙を利用している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・店頭での食品廃棄物削減のため、冷凍ラーメンの製造を行っている。 ・仕入、販売戦略において、極力ロスが発生しないビジネスモデル構築により、環境負荷低減に貢献している。 ・【予定】令和5年5月までに規格外商品の開発を行いリサイクルに取り組む。	1	2					6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所の敷地を有効活用し、植栽など緑の保全に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●													9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・店頭で使用するスプーンやフォーク等、プラスチック使用削減を実施し、海洋汚染防止に貢献している。														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・熊本市内の店舗については、社員の通勤手段を電車やバス等の公共交通機関利用に切替え、環境に配慮した交通手段の利用に貢献している。												9.4		11.2		13.1 13.3			
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13				17.2

